

明瞭に示された。一方、CT は MRI とは異質の像を呈した。すなわち、CT では腫瘍の全体像を把握することはできず、石灰化巣の集合を認めるのみであった。この症例では、14ヶ月以前から上記脳神経症状を認めており、その際の眼科での CT では全く異常を認めていなかった。その間、臨床症状の著変を認めていないことから、そのとき既に腫瘍は存在していて、腫瘍内で石灰化が進んではじめて CT で捉え得るようになったものと考えられた。従って14ヶ月前に MRI を施行できていれば(当時未設置)、CT では捉えられなかった腫瘍が MRI では発見された可能性が指摘される。

#### B-10) 橋出血にて発症した頭蓋底軟骨腫の1例

中村 公明・田中 輝彦 (青森県立中央病院)  
田中 悟・斎藤 和子 (脳神経外科)

頭蓋内軟骨腫は全頭蓋内腫瘍の0.1~0.2%をしめる稀な腫瘍であり、出血を来すことはまれとされ、クモ膜下出血例が散見されるのみである。

その多くは頭蓋底硬膜外の良性腫瘍で、緩徐な進行性の増大経過をとり、好発部位である頭蓋底、特に破裂孔付近より発生し骨破壊性に伸展、頭蓋底脳神経障害や小脳症状、また大脳脚圧迫による運動障害をきたすことがほとんどで、頭蓋内圧亢進症状を来すことは稀とされている。

我々は、47才の女性で、突然の頭痛で発症し急速に進行する意識障害、左片麻痺をきたし CT では橋出血と急性水頭症を認め、MRI にてその全容が明らかとなった頭蓋底硬膜外より発生し橋腹部内に伸展し出血をきたした巨大な軟骨腫と思われる症例を経験したので報告する。

#### B-11) 前頭骨、Bregma移行部より発生し、頭蓋内に大きく発育した Osteochondroma の全摘出成功例

西野 晶子・嘉山 孝正 (国立仙台病院)  
城倉 英史・佐藤 博雄 (脳神経外科)  
杉田 京一・桜井 芳明

頭蓋内 Osteochondroma は稀な疾患であるが、今回我々は、頭蓋内に大きな腫瘤として発育した一例を経験したので症例及び手術方法につき報告する。症例：28歳、女性。昭和63年1月頃より、突然泣き出す、つじつまのあわない言動を繰り返す等の Psychomotor seizure 様の発作が出現し、当科入院した。入院時、意識は清明、神経学的所見は認めない。放射線学的所見：頭部単純写で、右前頭部 area 6, 8 を中心として、直径約 6cm

の石灰化した腫瘤を、CT では Bregma 移行部付近に付着し骨と同じ Density で、MRI では T1WI, T2WI 共に、中央に一部高信号域を含む低信号域を認めた。脳血管写では、上矢状静脈洞の閉塞像及び異常血管像はなかった。手術所見：腫瘍は頭蓋から発生している為に、高速エアドリルを用いて頭蓋との連絡を断ち、硬膜面まで削除した後、遊離状となった腫瘍を上矢状静脈洞を含む周囲血管は温存しつつ、全摘出に成功した。

#### B-12) 頭蓋内 Mesenchymal chondrosarcoma —副鼻腔に再発した症例—

富子 達史・熊野 宏一 (高岡市民病院)  
北川 正信 (脳神経外科)  
滝本 徹 (富山医科薬科大学)  
水上 勇二 (第一病理学科)  
(金沢大学耳鼻咽喉科)  
(同 病理部)

9歳、女兒。頭部を打撲し受診した。神経症状は認めないが、頭蓋単純写で右側ほぼ正中部に淡い石灰化陰影があり、CT で enhanced mass が証明された。CAG で腫瘍陰影あり。昭和55年10月1日手術。腫瘍は境界鮮明、結節状であり、比較的硬かった。前頭蓋底より発生しており、これを一塊として摘出した。組織学的には紡錘形〜円形のクロマチンに富んだ腫瘍細胞の密な増殖からなり、核分裂像も稀にみられた。腫瘍細胞が毛細血管で囲まれている部位が多くあり、軟骨様組織、石灰化巣も所々にみられ、mesenchymal chondrosarcoma の診断であった。その後頭蓋内再発はないが、昭和63年7月に鼻出血があり、耳鼻科にて右篩骨洞〜鼻腔の腫瘍が発見された。7月25日腫瘍摘出術を受け、腫瘍は頭蓋底より発生したものであった。組織学的には頭蓋内のものと同様であった。術後、放射線照射が局所に 45Gy 行われ、現在再発は認めていない。

#### B-13) 頭頂骨に生じた ossifying fibroma の 1例

佐藤 一史・久保田鉄也 (福井医科大学)  
河野 寛一・久保田紀彦 (脳神経外科)  
林 實

5年の経過で増大した頭頂骨 ossifying fibroma の1例を経験したので報告する。

症例は20歳、男性。1984年6月。右頭頂部に軽微な外傷を受け近医受診。頭部単純写には異常を認めず。その後著変なく経過した。1989年3月27日、左前頭部打撲にて受診。神経学的異常は認めなかったが頭部単純写で右